

令和5年 第14回

陸別町教育委員会会議録
(公開用)

自 令和5年11月13日

至 令和5年11月13日

陸別町教育委員会

令和5年 第14回 陸別町教育委員会会議録

招集の場所	陸別町役場 3階 委員会室			
開閉会日時 及び宣告	開会	令和5年11月13日 午前9時26分	教育長	有田 勝彦
	閉会	令和5年11月13日 午前10時45分	教育長	有田 勝彦
委員の出席 及び欠席 ○出席を示す ×欠席を示す	教育長	有田 勝彦	○	出席 4人 欠席 0人
	教育長職務代理者	西岡 愛則	○	
	委員	小木 育子	○	
	委員	後藤 和美	○	
会議録署名委員	後藤 和美			
説明のため会議 に出席した 者の職氏名	次長	副島 俊樹	主任	北村 正利
	主幹	津幡 恵一		
	主任主査	遠藤 香奈		
職務のため会議に 出席した者の職氏名				
会議に付 した事件	議案第29号—令和4年度陸別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価			
	報告書の作成について			
	議案第30号—令和5年度教育費等補正予算案について			
会議の経過	別紙のとおり			

◎開会宣告

○有田教育長 　　ただいまより、令和5年第14回陸別町教育委員会会議を開会します。

◎会議録署名委員の指名

○有田教育長 　　本日の会議録署名委員は、後藤委員にお願いをします。

◎事務報告

○有田教育長 　　事務局より事務報告を行います。事務局より説明をお願いします。

○遠藤主任主査 　　管理関係について報告させていただきます。

　　10月4日、東北部教育長会議ということで、足寄町で開催されまして、教育長が出席しています。部活動の関係についての協議ということでした。

　　10月5日、陸別小学校開校記念日で陸別小学校休業日でした。

　　10月6日、陸別中学校1日防災学校ということで、当初、総合防災訓練を町のほうで行うものに、小中学校の児童生徒参加する予定でしたが、天候がちよっと悪くて、総合防災訓練が中止となりまして、陸別中学校では1日防災学校のみ開催するというので開催いたしました。内容につきましては、町の総務課の職員を講師に、防災時の備えのお話ですとか、あと帯広測候所のほうから津波発生装置というのを持ってきていただきまして、その学習などを行っております。

　　10月12日、東北部方面校長研修会ということで、足寄、本別、陸別の3町の校長先生が集まりまして、銀河の森天文台で研修会を行いました。津田館長からの天文台の概要説明などお話をお聞きしたり、あと、プラネタリウムの見学をしました。

　　10月18日、第7回陸別町校長・教頭会議をこちらのほうで開催しております。

　　10月20日、令和5年度北海道町村教育委員会連合会教育長部会の研修会、三委員会が札幌市で開催されまして、有田教育長が出席しております。

　　10月21日、陸別小学校学習発表会が開催されました。小木委員ほか職員1名が出席しています。

　　10月23日、臨時市町村教育委員会教育長及び教育局長会議がZOOMで開催されまし

て、教育長が出席しております。

10月27日、十勝教育局義務教育指導監学校経営指導訪問ということで、午前中、陸別中学校、午後から陸別小学校に義務教育指導監が訪問され、指導・助言をいただいております。午前中、教育長が中学校のほうで出席をしております。

同日ですが、令和5年度十勝教育を考えるつどいがZOOMで開催されまして、有田教育長ほか職員4名が出席しております。今年度は、十勝東部ブロックが主幹となって開催されておりました。内容につきましては、部活動の地域移行の状況等ということで、静岡県掛川市の教育委員会の指導主事の方から、いろいろ講演をいただいた内容でございました。

10月28日、陸別中学校第64回文化祭が開催されまして、有田教育長、西岡委員が出席されております。

11月2日、令和4年度陸別町教育委員会の活動状況に関する点検評価会議が開催されまして、学識経験者の方3名と有田教育長ほか職員4名が出席しています。

11月7日、令和6年度の陸別小学校新入学児童を対象とした健康診断を行いまして、対象児童、今年度は6名、全員出席と、あと職員4名で対応しています。

翌日に保育所のほうで歯科検診を実施しております。

11月8日、令和6年度当初人事（管理職等）に係る教育長協議ということで、有田教育長が帯広市のほうに出向いております。

11月10日、令和5年度陸別町教育研究大会が陸別中学校で開催いたしまして、教育長ほか職員4名が出席いたしました。職員4名のうち、辻本も出席しております。今回は英語と理科の授業についての研究・協議ということになりまして、理科のほうの研究・協議のほうにも辻本が出席しております。

管理関係については、以上です。

○北村主任 社会教育関係の事務報告をいたします。

10月5日、十勝東北部の社会教育委員研修会が本別町で行われました。委員2名と職員、次長と私がそちらのほうに出席をしております。

20日、十勝東北部の高齢者学びの集いということで、足寄町でありました。参加者は7名で、職員は辻本と櫻井で出張しております。

同日、北海道社会教育委員研究大会が、これはオンラインで第3会議室で行われております。これには私が出席をしております。

22日、カナダラコーム市の表敬訪問ということで、5日間です。本田町長と私が行ってまいりました。ここ、朝7時15分に出まして、向こうに着いたのが午後5時15分くらいだったのですけれども、この時計を見ると直ってなかったもので、見たら、8時15分、つまり25時間かけてラコーム市に着いたという形になります。行きは、カルガリーというところから1時間半で行けたのですけれども、帰りは雪が降っていて、3時間超えでやっと着いたという形です。あと40分たつと、もう飛行機に乗れなかったという、そういう危ない橋を渡りながら

帰ってきました。

28日、59回の陸別町文化祭がありまして、これについては8日間の開催でございます。展示、行事、舞台部門については記載のとおりでございます。

社会教育は以上です。

○津幡主幹 次のページ、社会体育関係になります。

10月3日、第3回スポーツ推進委員会議ということで、次期の冬期ミニバレーですとか、1月に行われる5歳児、1年生のスケート教室などを議論いただきました。委員4名、職員2名。

10月18日、体力測定会、これは16名ということで参加いただきました。教育長ほか職員3名ということです。

11月6日から9日まで第47回スポーツの集いということで、全体で147名の御参加をいただきました。教育長ほか職員3名ということです。

10月22日、第23回日産・陸別こがらしマラソンということで、ランナーの方は62名ということで、最終報告ということで聞いております。教育長ほか職員6名ということで、ゴール、スタートと、あと中のほうを教育委員会は監視のほうを担当しました。

10月27日ですけれども、第5回陸別町スポーツ振興基金運用委員会、こちらは書面会議でフットサルの4級の講習会と3級の更新ということで行いました。

続きまして、給食関係ですけれども、お手元に1枚、カラーの写真をお渡ししましたけれども、10月5日に中3のバイキング給食ということで、例年どおり行いました。裏面にメニューもありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

以上です。

○副島次長 続きまして、今後の予定について御説明いたします。

記載のとおりですけれども、明日、14日、第6回ことぶき大学の移動研修ということで、北見市で映画鑑賞ということで実施をいたします。

15日は、第8回の陸別町校長・教頭会議。

16日は、第2回の陸別町社会教育委員の会議ということで、中間の報告等を行う予定です。

20日に第6回陸別町スポーツ振興基金運用委員会を開催いたします。これは対面で実施をする予定です。

続きまして、22回となっておりますが、22日の誤りです。訂正をお願いいたします。申し訳ございません。陸別町議会の臨時議会が予定されております。その後、議員協議会開催される予定で、その際に教育委員会としてもプール関係で出る予定をしております。

24日、陸別町社会連携連絡協議会の出前授業ということで、小学校、中学校それぞれ名古屋大学と国立環境研究所の先生に授業をお願いしております。

25日は陸別中学校の土曜授業ということで、これは1年生対象になるのですが、旧中斗満小学校の郷土資料室と公民館の石器を見学する予定となっております。

28日が第2回陸別町学校運営協議会の会議。

12月5日から陸別町議会12月定例会開会の予定となっております。

12月6日は、第38回冬季ミニバレー大会ということで予定をさせていただきます。

今後の予定につきましては、以上でございます。

○有田教育長 それでは、事務報告について質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

◎報告事項

○有田教育長 それでは、次に報告事項に入ります。

教育長業務報告について、私のほうから報告をいたします。別冊の教育長業務報告を御覧ください。

(別冊「教育長業務報告」について教育長より報告)

◎議事審議

○有田教育長 それでは、次に議事に入ります。

議案第29号令和4年度陸別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書の作成についてを議題とします。

事務局より、提案理由の説明をお願いします。

○副島次長 それでは、議案第29号令和4年度陸別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書の作成について、陸別町教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関する規定第4条の規定に基づき、次のとおり報告書を作成する。

提案の理由は、陸別町教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関する規定第4条の規定に基づき、報告書を作成するというもので、報告書につきましては、別冊のとおりということになります。

それでは、別冊の令和4年度陸別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書により御説明いたします。

まず、報告書の18ページをお開きください。

陸別町教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関する規定であります。第4条第1項に報告書の作成ということで、陸別町教育委員会は前条の点検及び評価の結果を報告書として作成しなければならないと規定されております。

前条とは、第3条点検及び評価の実施でありまして、第2項に点検・評価を行うにあたって

は、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用することとなっており、11月2日に会議を開催し、3名の学識経験者から意見をいただいております。

本日、本議案を決定していただきましたら、第5条町議会への提出ということで、これに基づき、議会へ提出いたします。その後、第6条公表に基づき、町のホームページにおいて公表することになります。

それでは、4ページをお開きください。

陸別町教育委員会教育委員名簿から、5ページ、3の教育委員の活動状況までの教育委員に関わることにつきましては、説明を割愛させていただきます。

続きまして、6ページです。

4の各種委員会等の審議状況につきましては、記載のとおりです。教育支援委員会は1回、社会教育委員の会議は3回、文化財審査委員会の会議は2回、スポーツ推進委員の会議は5回開催し、令和4年度は全て対面での開催ができました。

スポーツ振興基金運用委員会の会議は9回開催しておりますが、うち7回は書面開催となっております。これにつきましては、大会参加等ではない各種スポーツ指導者等の受講や登録、方針及び制度変更に伴う受講申請等については、会議を招集せず、書面会議とする旨、第2回の会議で決定をして、それ以降、このような内容のものにつきましては、書面開催としたために書面開催が増えているものでございます。

なお、例えば第4回の①十勝地区新規フットサル4級審判認定講習会にかかる助成について、(W)と入っていたり、その下、②が(N)と入っておりますが、これはそれぞれ指導者等が個人で申請という形になっておりまして、個人名が入っていましたが、ここではイニシャルで表示をさせていただいております。そのほか、書いていないのは、所属する団体での申請という形もあります。

続きまして、8ページ、5、教育予算の状況でございます。令和4年度の最終予算額となります。教育費全体では、人件費を含み3億8,479万4,000円で、一般会計予算総額56億7,074万9,000円に占める割合は6.8%となり、前年度と比較して7,893万円の増額となりました。

(2)の予算の概要につきましては、各科目の予算額及び経費の項目を記載しております。それぞれの科目に記載の内容が含まれているということでございます。

9ページになります。

教育費最終予算の内容、項目別予算ということで、令和4年度と令和3年度の比較でございます。

教育費の合計は、前のページで御説明した額となります。前年度と比較しますと7,893万円の増額となりますが、増減の主な要因につきましては、10ページになりますが、10ページの表に記載のとおりとなります。

この中で、大きな増減の要因につきまして御説明をいたします。

1行目の事務局費の person 費につきましては、下から4行目の学校給食費の person 費とも連動しますが、人事異動による人員配置の変更、年齢構成等の変更によるものが主なものです。

3行目、教員住宅建設事業につきましては、1棟を建て替えたための増額。

6行目のスクールバス更新は、令和3年度はなかったため、全て増額。

9行目、17行目の小学校、中学校の学校改修事業につきましては、小学校、中学校の職員室、校長室等へのエアコン設置による増額であります。

下から8行目、文化財保護費であります。関寛齋資料館管理事業では、令和3年度は案内書の増刷があったこと、史跡周知活用維持管理事業では、令和3年度はユクエピラチャシ跡の排水整備工事がありました。それらがなくなったことによる減額。

学校給食費については、給食調理等業務の委託、アイスシェルダー設置にかかる増額が主なものとなります。アイスシェルダーは、冬期間の、冬の間は寒気で氷をつくり、その氷の冷気で夏場の野菜保管等に利用するという感じでやります。そのほかにも、記載のとおり増減の理由はありますけれども、ただいま説明したものが主なものとなっております。

続きまして、11ページです。

6番の新型コロナウイルス感染症に関する経過と、その対応であります。内容につきましては、記載のとおりでありますけれども、令和4年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染が収まらず、いくつかの波があり、町内でもクラスターが発生するなど、感染が拡大することもありましたが、その都度対策を取り対応してきました。感染拡大期間中は、小中学校の学年閉鎖、学校閉鎖などもありました。令和4年度に予定をしていた事業、行事等につきましては、感染対策を十分に施した上で、様々な工夫をしながら開催できましたが、一部ものにつきましては、令和3年度と同様に中止、延期、縮小を余儀なくされたものもありました。

続きまして、7番目の主な施策の推進状況、成果と課題であります。記載のとおりであります。個別に説明をいたします。

(1)の学校教育の推進では、社会で生きる力の育成、豊かな心と健やかな体の育成、地域総掛かりで学びを支える体制の構築、学びをつなぐ学校づくりの実現を柱とし、陸別町の特性を生かした地域とともにある学校づくりに取り組んでまいりました。

社会で生きる力の育成では、児童生徒に将来必要な資質、能力を身につけさせるとともに、社会的に自立するための力を育てまいりました。

英語指導助手は、引き続き、ティモテ・エドワード・ショーンテラーさんをお願いし、小中学校の外国語授業の充実を図っております。

特別支援教育における保護者及び関係機関との連携、専門医の派遣や特別支援補助員等の配置を行い、必要な支援を行っているところです。

また、小中学校ともに1人1台のタブレットの整備と校内Wi-Fiの環境整備が終わり、今はICTを効果的に活用した授業実践に努めております。

英語指導助手、学習支援員等から奨学資金貸付まで記載の金額の執行または改正を行っております。この金額は決算額であります。

次に、豊かな心と健やかな体の育成では、道徳科、ふるさと科による授業と読書活動などとおして、基本的な倫理観や規範意識を身につけさせるとともに、ふるさとへの誇りや愛着、思いやりの心や美しいものに感動する心など、豊かな心を育てまいりました。

いじめの問題につきましては、アンケート調査などにより、学校全体で未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、子どもたちが発するサインを見逃さないよう、きめ細やかな対応に努めております。

児童生徒芸術鑑賞事業につきましては、令和4年度は小学校の音楽鑑賞を行いました。NHK帯広放送局が窓口となり、NHK交響楽団による音楽教室を行っております。

続きまして、12ページになります。

学びをつなぐ学校づくりの実現では、令和元年度よりスタートし、4年目を迎えた小中一貫教育につきましては、学力の定着、豊かな人間性と社会性の育成、9年間を見通した一貫性、継続性のある指導、ふるさと教育の充実と目指す一貫教育の姿と捉え、推進しております。

小学校における教科担任制につきましては、引き続き検討を進めてまいります。

また、令和4年度より教育委員会事務局職員のうち、教員免許保持者を小学校5学年の理科授業に臨時教諭として派遣をしております。

小学校と保育所の連携につきましては、保小連携連絡会推進会議での検証を踏まえ、小学校へのスムーズな引き継ぎが行えるよう、引き続き連携の充実に努めてまいります。主な事業につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、4番目、信頼される学校づくりでは、教職員の服務規律の保持・徹底につきまして、不祥事の未然防止について、毎月定例で開催しています校長・教頭会議において、指導の徹底について努めております。

また、教職員の業務改善につきましては、学校における働き方改革陸別町推進プランに基づき、学校閉庁日の設定や部活動の休養日の取組などを進めております。

13ページになります。

学びを支える家庭、地域との連携・協働では、家庭学習の習慣化、インターネットやテレビゲームなどに依存しない、望ましい生活習慣の定着の見直しに向けて取り組んでまいりました。

6番目、児童生徒の安全確保では、関係機関と連携した推進体制の構築と指導の徹底を行っております。

また、小学校、中学校とも1日防災学校の取組を行いました。

続きまして、(2)の社会教育の推進であります。令和3年度からスタートした第9期陸別町社会教育計画に基づき、学べる機会の提供、関連施設の整備等に努めてまいりました。ただ、令和4年度も新型コロナウイルス感染症や天候、これは行事前の降雨等による増水なども

含みますが、これらの関係で残念ながら中止になった講座教室等が多くなりましたが、実施可能なものにつきましては、対策を取った中で開催をしております。

中学生等海外研修派遣事業は、令和3年度に引き続き中止となりました。ただし、代替事業として道内でも条件の整ったニセコ町での英語研修を実施しております。また、今までの冒険・体感 in 東京派遣事業に代わり、令和4年度から魅力体感 in りくべつ事業として野外活動、キャンプを行っております。小学校6年生を対象として15名が参加しました。

そのほかの事業等につきましては、記載のとおりでございます。

(3)の文化の振興につきましても、コロナ禍の中、文化祭が中止となり、ふるさと劇場の活動も縮小しての実施となりましたが、あかえぞ発刊事業は進められました。文化芸術活動につきましては、豊かな心とまちづくりへの意欲を育む住民活動であることから、引き続き支援をまいります。

(4)の文化財の保護と活用では、旧関牧場施設等保存活用整備について、関寛扇顕彰会に対して支援を行っております。今後も引き続き、顕彰会の活動を支援してまいります。

続きまして、15ページであります。

(5)のスポーツの振興です。スポーツは、健康の維持・増進や生きがいに役立つだけでなく、住民同士の交流や地域連携を深めるため、地域活性化に重要な役割を果たしています。スポーツ団体に対する支援や軽スポーツの推進にも取り組んでおります。令和4年度からは、パラリンピックの種目にもなっているボッチャの普及に取り組んでまいりました。町民スポーツレク大会につきましては、新型コロナウイルスの関係もありますが、自治会ごとに選手集めなどの困難さもあるということで、代表者会議も開催し、令和4年度は中止とし、これをもって次年度以降の大会の廃止を決定しております。

そのほかの教室、大会等につきましては、15ページから16ページに記載しております。ほぼ予定通り開催できました。体育施設等につきましては、感染対策を取りながら開放しております。野外活動施設、バーベキューハウスにつきましても、令和4年度は6月から使用可能としました。

16ページ、(6)の給食、食育につきましては、地域の食材なども活用しながら、成長に必要な栄養バランスと食の経験を得ることができる多種多様な献立を作成し、おいしく、楽しい給食を提供しております。また、アレルギー対策も保護者と面談をしながら取り組んでまいりました。町民試食会につきましては、令和4年度は開催することができました。給食の提供数等につきましては、16ページに記載のとおりでございます。

続きまして、17ページ、8の有識者の意見でございます。11月2日に開催した会議において、大きく8点の御意見をいただきましたので、記載しております。予算の関係につきましては、学校給食費の特に食材の予算を増額してはどうかという御意見をいただいております。現時点で不足しているという状況ではありませんが、状況を見ながらという回答をしております。

新型コロナウイルス感染症対応については、行事等も開催でき、しっかり対策ができているという御意見をいただきました。

次の社会で生きる力の育成についてですが、生きるの生の字を申し訳ございません、生活の活という字に訂正をお願いいたします。前段の本文のほうでは、この生きるという字を使っておりました。社会で生きる力の育成については、英語指導に関して充実した実施等の御意見をいただいております。

次の不登校につきましては、子どもによって登校できない理由が様々であり、担任一人に任せるのではなく、複数の教員で対応することや、学校、教育委員会、家庭と連携した取組が必要なこと、また、頑張っている子にも励ましの言葉をかけてほしいとの御意見をいただいております。

学びをつなぐ学校づくりの実現については、総合的な学習、体験学習は今後も続けてほしいという御意見です。まだ正式発表ではありませんが、土曜授業という形では、来年度以降は実施せず、通常の授業の中で進めていく旨、回答をしております。

社会教育の推進については、カナダ派遣事業の代替事業、魅力体感 i n りくべつ事業についての取組が子どもたちにとってよかったという御意見をいただいております。

スポーツの振興については、ボッチャの普及はよい取組であるという御意見をいただいております。

給食、食育については、調理員の確保が大変厳しくなっており、地域おこし協力隊の制度などが使えないかとの質問がありました。担当ではないので、この場で返事はできませんが、業務内容等で厳しい部分もあるのではないかという回答をしております。

19ページ、20ページに参考資料といたしまして、過去10年間の公民館の入館者数の推移及び関寛齋資料館入館者数の推移を載せてございますので、後ほど御確認をお願いいたします。

以上、大変雑駁ではございますが、議案第29号の説明とさせていただきます。

以降、御質問によりお答えいたしますので、御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○有田教育長　それでは、議案第29号の質疑を行います。

基本的には17ページに有識者からの意見が出ました。今年は例年より結構出していただいたかなと。事務局のほうで一応取りまとめをして、学識経験者のほうにはこういうふうに取りまとめましたということで、一応御連絡をして、了解をもらっての今日の提案という形になっているかなというふうに思っております。

あまり悪い評価はなくて、誉めていただけるとうれしいですという話はしたのですけれども、いいことばかりでは当然ないので。

有識者の意見も口答で言ったものをうまく取りまとめたということで、教育委員会のほうで都合のいいように解釈して書いているというものではありませんということも含めて。

○西岡委員　ある程度、ちゃんと評価してくれるということでもいいのではないですか。

○有田教育長 よろしいですか。

この辺がPDCAサイクルということの評価があって、これによってまた改善するところはあるという、いいものはいいでやっていくと。そういうような流れになろうかなというふうに思っていますので。

それでは、議案第29号について、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○有田教育長 それでは、異議なしと認め、議案第29号は原案のとおり決定しました。

次の議案ですが、議案審議の前に、議案第30号については、教育事務の議会の議案について、町長への意見の方針に関する事項でありますので、陸別町教育委員会会議規則第7条の第1項第4号の規定により非公開としたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○有田教育長 それでは、異議なしと認め、非公開とします。

(以下、非公開)

○有田教育長 これより、会議を公開とします。

◎その他の事項

○有田教育長 次に、その他に入ります。

委員の皆さんから何かありませんか。

(「なし」の声あり)

○有田教育長 事務局からはありませんか。

(「なし」の声あり)

◎閉会宣言

○有田教育長 それでは、以上をもちまして、令和5年第14回陸別町教育委員会会議を閉会といたします。

大変御苦労さまでした。

閉会 午前10時45分

陸別町教育委員会会議規則第19条の規定により署名する。

会議録署名委員 後 藤 和 美

会議録作成職員 遠 藤 香 奈